

Joaquín Achúcarro

ホアキン・アチュカロ ピアノ

www.achucarro.com

単に美音というのではなく、その人の信条、美学、思想、そして人間性などが自ずからにじみ出てくるような音。ピアノはときにたくさんの音をあやつるが、たったひとつの音でも人を泣かせることができる。そこまでの背景をもった音。ホアキン・アチュカロの音がそうだった。

(青柳いづみこ/ピアニスト。文筆家)

1932年スペインのバスク地方の都市、ビルバオに生まれ、13歳で地元オーケストラと協演。しかしすぐに音楽を志したわけではなく、マドリードへ出て物理学を修め、その後にイタリアのシエナにあるキジアーナ音楽院で本格的に音楽を学ぶ。ピアニストとして生きることを決定づけたのは、1959年のリヴァプール国際コンクールで優勝後、ロンドン交響楽団との協演で注目を集めたことだった。

以来、着々と国際的な活動の幅を広げ、ベルリン・フィルハーモニー、ウィーン楽友協会、アムステルダム・コンセルトヘボウ、サル・プレイエル(パリ)、ミラノ・スカラ座、ロイヤル・アルバート・ホール(ロンドン)、カーネギー・ホール(ニューヨーク)、など、世界の檜舞台で演奏。

共演したオーケストラは、ベルリン・フィル、ロンドン・フィル、ミラノ・スカラ座管、ニューヨーク・フィル、シカゴ響、ロサンゼルス響ほか世界中で200を超える。スペイン国内の全てのオーケストラとも共演している。共演した指揮者は、クラウディオ・アバド、リッカルド・シャイー、コリン・デイヴィス、ズービン・メータ、小澤征爾、サイモン・ラトルらを筆頭に、350人以上を数える。

80歳を超えた今も世界中で精力的に演奏を行い、1シーズンに北米、南米、ヨーロッパ、アジアなど12か国で演奏を行ったこともある。2014年にはスイスで開かれ、一流アーティストが集うことで有名なヴェルビエ音楽祭に初登場し、演奏のみならず45分間のインタビューがオンラインで世界中に中継され話題を集めた。

録音でも1960年代から膨大な量のレコード、CDをリリース。とりわけ20世紀スペインを代表する作曲家ロドリゴのピアノ協奏曲の録音(ソニー)はこの曲の決定盤として知られているほか、グラナドスやトゥリーナ

などスペインの作曲家の作品を集めたCDが、近年再発売されている。映像(DVD)でもOpus Arteより“アチュカロ・プレイズ・ブラームス”をリリース。英国クラシックFMマガジンのエディターズ・チョイスに選ばれたほか、インターナショナル・レコードレビュー誌の“傑作”ランキング、Amazon.comの“話題の新作”のトップにそれぞれランク・インするなど、ヨーロッパ各地で賞賛を得た。他にもEuroartsよりラトル指揮ベルリン・フィルとの協演等を収録した“ファリャ & フレンズ”等がある。

2000年、その卓越した芸術上の功績が認められ《平和のためのユネスコ・アーティスト》に選出。2003年、国家功労十字勲章を授与された。

1989年8月より、米国ダラスにある南メソジスト大学の名誉教授。及びキジアーナ音楽院名誉教授も務めている。2008年、ダラス市の関係個人・団体により「ホアキン・アチュカロ財団」が創設され、その芸術上および教育上の功績を後世に伝え、前途ある若いピアニストを助成することを目指している。



85歳記念盤!

ホアキン・アチュカロ
ショパン
24の前奏曲&舟歌 ほか

レーベル La Dolce Volta
品番 LDV44D
輸入元 キング・インターナショナル



宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス
地下鉄栄駅(12) 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00